

聞こえに向き合えば 人生はまだまだ 楽しめる

70歳を超えて元気はつらつとしている
井上順さん。

「補聴器を着けて人と出会うことが
若さの秘訣」と話す。



“両耳に補聴器を着けると、世界が変わった”



ステージでイキイキと歌う姿。



井上順さんご愛用のリオネット補聴器。

で聞き返すのが面倒で断つてしまふ。本当は、人とおしゃべりするのが大好きなのに……。

そんな僕を救ってくれたのがリオネット補聴器でした。最初は目立たないようになかったのですが、両耳に補聴器を着けたときは、生まれ変わったような心地がしたものです。早く両耳に着けておけばよかったと後悔しました。

僕が今も元気なのは、多くの人とお話し、たくさん

笑顔に出会えているから。補聴器を着けて楽しく日々を過ごしているおかげで、70歳を過ぎた今も健康そのもの。自宅でタップダンスの練習をしたりと、体力を維持できるように運動もしています。

最近の補聴器は小型で、ファッショナブルなアイテムのようにおしゃれで、恥ずかしがることはありません。堂々と補聴器を着けて、街へ出かけましょう。聞こえに向き合えば、人生はまだ楽しめます。

歌手・俳優
井上 順さん

ザ・スパイダースのボーカルとして数々のヒット曲を生み、俳優としても活躍。50代で難聴と診断され、リオネット補聴器に出会い。

リオネット補聴器アンバサダー。

星野リゾート宿泊ギフト券10万円相当が当たる!

ご購入対象期間:
2月20日(木)~3月31日(火)

詳しくはWebで

リオネット補聴器 Quality of Sound, Quality of Service

リオネット補聴器販売店のご案内、カタログのご請求は
受付時間 9:00~21:00

0120-2933-76

“補聴器を着けて、街へ出かける——これが僕の若さの秘訣”

例えば大河ドラマ「真田丸」出演のお話をいたしました。ところが、脚本の三谷幸喜さんは「大丈夫だよ」とおっしゃる。蓋を開けてみると、僕が演じるのは頭巾を被る役で、補聴器を着けていても問題ありませんでした(笑)。周囲の優しさ、ありがたさを実感することが多いですね。元来明るい僕ですが、聞こえが悪くなつた当初は閉じこもりがちになつていました。「ちょっと一杯行かな?」と誘われても、会話

は隠さず、いつもオーブンにしています。仕事をするうえでは、「僕は難聴だよ」と伝えることが大事。仲間は「順ちゃん、そんなの気にしないよ」と言ってサポートしてくれます。